



第23回 日本CT検診学会学術集会

開催趣意書

講演抄録広告掲載募集のご案内

附設企業展示募集のご案内

共催セミナー募集のご案内

大会長：大松広伸（国立がん研究センター東病院）

会 期：平成28年2月12日（金）・13日（土）

会 場：柏の葉カンファレンスセンター



御挨拶

謹啓

新涼の候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より日本CT検診学会の活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

CTは画像診断に革命的な進歩をもたらし、病巣の存在診断、質的診断のみならず、各種の疾患の早期発見に役立つことが認められてきました。本学会は、より早期に肺癌を発見するためのCT検診の成績や、新しい技術について研究し、それらを発表する場として、1994年に「胸部CT検診研究会」として発足、年に1回の学術集会を開催してまいりました。このたび、平成28年2月12日(金)と13日(土)の両日、千葉県柏市「柏の葉カンファレンスセンター」において、第23回日本CT検診学会学術集会を開催させていただくこととなりました。大変光栄に思うのと同時に、このような機会を与えて頂いたのも、常日頃本学会の活動に対し、御社を始めとした皆様方のご理解ご協力を頂けているからと思っております。

当初の研究対象は肺がんと冠動脈石灰化でしたが、その後、肺気腫や早期の肺結核も指摘できるようになり、胸部および腹部の動脈瘤の診断も容易になり、また内蔵脂肪の定量的な評価や、骨粗鬆症の診断、最近ではCTコロノスコーピーでの大腸がん検診なども始まり、対象臓器は全身に広がっております。また、約5年前には、米国で行われた胸部X線検診との無作為化比較試験(NLST)において、喫煙者に対するCT検診が肺癌死亡を約20%減少させるとの報告がなされました。米国癌協会が、喫煙者に対する低線量CT検診を推奨するという指針が発表され、更に、米国CMS(The Centers for Medicare & Medicaid Services)が、ハイリスク群に対する低線量CT検診を公的保険でカバーすることも公表され、CT検診はますます普及していくものと思われまます。我が国においては、本学会こそが、CT検診技術のスキルアップを図り、精度の高い検診を国民に提供し、ひいては国民の肺がん死亡を減少せしめる先頭にたつべきであろうと思っております。過去数年間の大会では、NLSTの報告もあって、検診の有効性評価や方法論など大局的なテーマでしたので、今回の学術集会のテーマは、あえてCT検診を開始した頃の最も重要な原点に帰るという意味で「CT検診技術のスキルアップー存在診断と質的診断の両者を極めるためにー」としました。どんなに撮影装置が進歩しても、また、CAD(Computer-aided Diagnosis)の性能が上がったとしても、より早期にがんの候補を拾い上げ(存在診断)、より早期に良悪の鑑別が出来るか(質的診断)は、撮影や読影に携わる医師や技師のスキル次第です。検診プロセス内の最も重要なポイントであり、また永遠の課題でもあろうかと思います。

2006年からは「NPO法人 日本CT検診学会」と名称及び制度の改正を行い現在に至っております。会員数は800名を超えており(2012年末)、会員の半数は臨床各科と公衆衛生関係などの医師ですが、画像処理やコンピュータ関連の工学の研究者、放射線技師、放射線機器メーカーの研究者、保健師、看護師、臨床検査技師、衛生行政担当者、検診機関

の実務担当者なども少なくなく、その職種は極めて多岐にわたっております。このようにCT検診に関わる多くの職種や立場の関係者が一堂に会して議論できる場は他になく、CT検診を正しい形で全国あるいは全世界に広めていくために、重要な組織として認められております。特に、参加される医師の多くは、日常呼吸器科領域の診療、すなわち、COPD患者さんや肺癌患者さんの画像診断、気管支鏡を含めたインターベンション、外科治療、薬物療法、緩和治療などに広く携わっております。

この大会の会場は、先日開業10周年を迎えたつくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅に隣接した「柏の葉カンファレンスセンター」です。この地域は、スマートシティとして環境やエネルギーに配慮され整備された近未来的な都市空間で、秋葉原から30分の好立地でもあり、多数の参加者を見込めることが出来ますので、御社製品等を印象深く効率よくアピールするには格好の場であろうかと思っております。

つきましては、上記の趣旨をご理解頂き、この機会に是非本学術集会抄録集への広告掲載、企業展示、共催セミナーをご検討賜りたく、お願い申し上げます。諸費多端の折から誠に恐縮ではございますが、本会にご協賛の程何卒よろしくお願い申し上げます。

平成27年9月吉日

NPO法人日本CT検診学会 第23回学術集会 大会長
国立がん研究センター東病院
大松 広伸

開催概要

1. 大会名称 日本CT検診学会第23回学術集会
CT検診技術のスキルアップ
－存在診断と質的診断の両者を極めるために－
2. 会期 平成28年2月12日（金）・13日（土）
3. 会場 柏の葉カンファレンスセンター（三井ガーデンホテル柏の葉内）
千葉県柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス148街区2
(<http://www.kashiwanoha-smartcity.com/hall/>)
4. 主催 NPO法人日本CT検診学会
5. 大会長 大松 広伸（国立がん研究センター東病院）
6. 参加予定数 300名
7. プログラム 一般演題、共催セミナー、企業展示
8. 事務局 第23回日本CT検診学会学術集会
株式会社クバプロ内
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F
TEL：03-3238-1689
FAX：03-3238-1837
E-mail：jscts-taikai23@kuba.jp

企業展示募集要項

1. 展示会場 柏の葉カンファレンスセンター
(三井ガーデンホテル柏の葉内)
2. 展示料金 1小間：W1800×D600(長机1代)、パネル板
¥100,000(消費税込108,000円)
3. 申込締切日 平成27年12月4日(金)
4. 搬入・搬出予定
平成28年2月11日(木)午後 時間未定
平成28年2月13日(土)午後 時間未定
5. ご請求・お支払いについて
お申込確定後、請求書をお送りいたします。請求書に記載いたします
支払日までに指定口座へお振込みください。また、振込手数料は貴社
にてご負担ください。貴社事情により支払日までにお振込みできない
場合には、必ずご連絡ください。
6. お申込み解約について
申込書受領後の解約は原則お受けできません。なお、申込解約を書面
にてお送りいただき主催者が解約を認めた場合は以下の解約料金をお
支払いいただきます。
解約料金 解約書面をお送りいただいた日を基準として
平成27年11月27日までに受領……請求額の50%
平成27年11月27日以降……請求額の全額をお支払いいただきます。

講演抄録集広告掲載募集要項

1. 掲載媒体 第23回日本CT検診学会学術集会抄録集
2. 発行部数 1000部
3. 配布対象 日本CT検診学会会員および当日参加者
4. 掲載料金 A4版
表4： 100,000円（消費税込108,000円）
表3： 80,000円（消費税込 86,400円）
表2： 80,000円（消費税込 86,400円）
中項（全面）： 60,000円（消費税込 64,800円）
中項（半面）： 30,000円（消費税込 32,400円）
5. 広告掲載募集企業数 10社
6. 申込締切日 平成27年11月27日
7. 原稿締切日 平成27年12月4日
8. 入稿形態 完全データ（PDF）入稿
※必ずデータの出力紙をご提出ください。

講演要旨集広告要項

平成27年 月 日

講演抄録集に広告掲載を申込みます。

表4

表3

表2

中項(全面)

中項(半面)

企業展示に申込みます。

_____ 小間

貴社名：

ご担当者名：

ご担当部署：

〒

ご連絡先住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

申込先：

第23回日本CT検診学会学術集会

株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：jscts-taikai23@kuba.jp

共催セミナー募集要項

1. 開催日程 平成28年2月12日(金)・13日(土)
2. 会場 柏の葉カンファレンスセンター
(三井ガーデンホテル柏の葉内)
3. 講演形式 PCプレゼンテーション形式で60分。
※プログラムの都合により、時間帯が多少変更になる場合もあります
のでご承知ください。
4. 講演種類(募集企業数)
モーニングセミナー(2社)、ランチョンセミナー(2社)、イブニング
セミナー(2社)
5. 参加費 ランチョンセミナー：500,000円(消費税込540,000円)
モーニングセミナー、イブニングセミナー：
300,000円(消費税込324,000円)
参加費には、会場費、映像・音響機材費及びスタッフ(PCオペレー
タ、照明係、進行係)、並びにお弁当を含んでいます。(お弁当の内
容は大会長と相談して決められます)
※参加費には講演者、座長・司会等の謝金、旅費交通費、宿泊費、製
作物費用、控え室等は含まれておりません。
6. 申込締切日 平成27年12月4日
7. その他 演題・講演概要を抄録に掲載いたします。
・ 版型：A4判
・ 印刷方法：モノクロ1色印刷
・ 原稿締切日：平成27年12月11日
・ 入稿方法：PDFにてお送りください。
※申込締切日以降、プログラムが確定後に詳細を連絡します。

共催セミナー申込書

平成27年 月 日

- 共催セミナーを申込みます。
- モーニングセミナー
- ランチョンセミナー
- イブニングセミナー
- その他 ()

貴社名：

ご担当者名：

ご担当部署：

〒

ご連絡先住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

申込先：

第23回日本CT検診学会学術集会

株式会社クバプロ内

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：jscts-taikai23@kuba.jp

第23回CT検診学会学術集会 収支予算案

開催日：2016年2月12日（金）・13日（土）

開催地：柏の葉カンファレンスセンター（三井ガーデンホテル柏の葉内）

収入の部

1. 参加費		
参加費		2,400,000
懇親会費		250,000
2. 展示出店料		400,000
3. 広告掲載料		900,000
4. 共催費		
学会本部補助		800,000
共催セミナー		1,700,000
協賛金		650,000
合 計①		7,100,000

支出の部

1. 会場費		
開場・付帯設備費		3,100,000
懇親会費		350,000
2. 運営制作費		
企画運営費		930,000
3. 制作費		
ポスター・チラシ		300,000
HP関連費		180,000
抄録集（印刷費含む）		1,000,000
参加票その他		80,000
4. 事務局運営費		
通信費		80,000
消耗品費		30,000
会議費		100,000
交通費		350,000
5. その他		
宿泊費・講師謝金等		600,000
合 計②		7,100,000

収入合計①	支出合計②	残高
7,100,000	7,100,000	0